



ギンバイカ(銀梅花) <フトモモ科 ギンバイカ属>

地中海原産。樹高2m前後の常緑低木。関東以西で庭木や公園樹にややまれに植栽される。ヨーロッパではゲッケイジュやオリーブと共に古くから親われ、花や葉に芳香があり結婚式の飾りや花嫁のブーケなど祝い事に用いられたことから「祝いの木」とも呼ばれる。葉身は、長さ2~5cm、葉先がよく尖り光沢がある。花は5~7月、糸のように細くて長い雄しべがよく目立つ。晩秋、ブルーベリーに似た黒紫色の実を付け食べられる。名は、ウメに似た純白の小花をつけることから。・・・▼植物との出会いは様々で、このギンバイカは近隣の朝市で見つけた。真っ白な花や丸い蕾、整った小ぶりの緑の葉がとても可愛らしい。▼葉をもむと、何とも言えないさわやかな素敵な香り。花や葉は精油の原料でハーブ界ではマートルという名で知られている。▼ひっそりと山の中で咲く花、道端で気付かれずに咲く花。誰に見られようが見られまいが、ひたすら自分の使命を果たし全うする。植物の世界は、まさに、気高く愛おしく魅力溢れる世界。

~佐伯区河内 2023・6~